

(参考) 地震以外の災害リスク

近年の自治体庁舎の浸水被害

(1) 平成27年9月の豪雨による 茨城県常総市庁舎の浸水被害

① 常総市庁舎の概要

- ◇ 平成26年竣工
(東日本大震災に伴う被災により建て替え)
- ◇ 延べ床面積約4,200㎡、3階建て
- ◇ ハザードマップの洪水浸水想定区域内に立地



常総市庁舎外観
常総市ホームページより

② ハザードマップ指定状況



浸水深の見方



常総市洪水ハザードマップ
常総市ホームページより

③ 浸水被害状況

平成27年9月の関東・東北豪雨により鬼怒川の堤防が決壊



本庁舎1階の執務室・電源設備、屋外の非常用電源設備ともに浸水



全電源が途絶え、災害対策本部ごと孤立



庁舎内にいた避難住民約400人のほか、市職員や自衛隊員など計約1,000人が孤立

(2) 令和5年9月の台風による 茨城県日立市庁舎の浸水被害

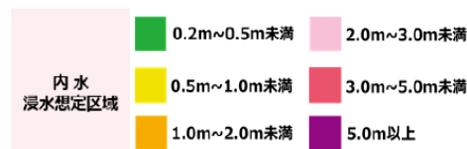
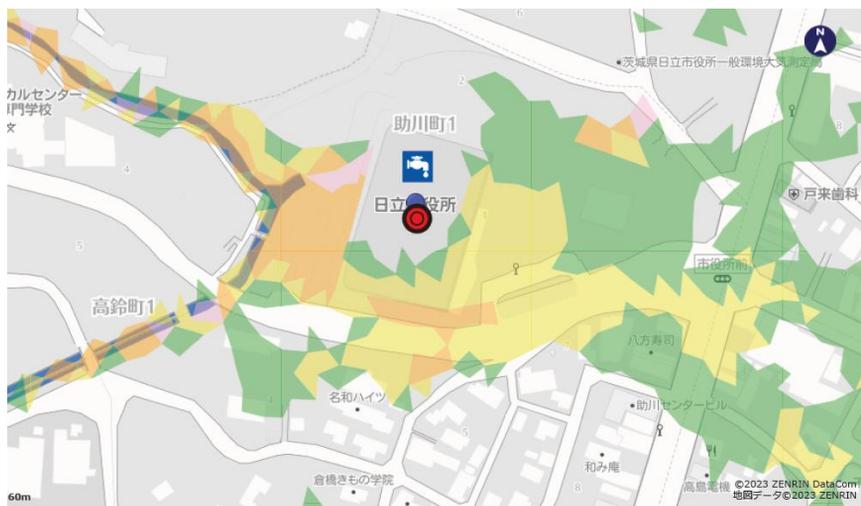


日立市庁舎外観
日立市ホームページより

① 日立市庁舎の概要

- ◇ 平成29年竣工
(東日本大震災に伴う被災により建て替え)
- ◇ 延べ床面積約25,000㎡
地下1階・地上7階建て
- ◇ ハザードマップの内水浸水想定区域内に立地

② ハザードマップ指定状況



日立市WEB版ハザードマップ
日立市ホームページより

③ 浸水被害状況

令和5年9月の台風13号により、庁舎近くの2つの小河川が合流する暗渠付近から越水



地下の**受電設備・非常用電源設備**ともに浸水



全電源が途絶え、災害対策本部は近くの市消防本部に移転を余儀なくされる



電話の不通、市民窓口での証明書発行停止など、大きな影響が生じた

常総市・日立市いずれもハザードマップ内に庁舎が立地していましたが、ここまでの大きな被害に至ることは「想定外」だったとしています。

近年、地球温暖化等の影響により災害が多発化・激甚化していることから、「想定外」の大きな災害が起こるということを教訓に、震災のみならず、**洪水・土砂災害等の際にも防災拠点機能を確実に維持**できるよう、**最大限配慮**する必要があります。